

PRESIDENT'S MESSAGE

RI会長メッセージ

RI指定記事

若者の声に耳を傾けよう

ショキ・ワフラさんは、生まれ育った国ケニアを離れることを余儀なくされた時、これから何が待ち受けているのか分かりませんでした。しかし、彼を迎えたのは、温かさや友情にあふれたロータリーのコミュニティーでした。この経験に背中を押され、彼は世界中の若いリーダーがつながり、スキルを高め合い、共に奉仕できるローターアクトEクラブの設立に携わることにしました。

現在、そのコミュニティーは複数の大陸に広がり、リーダーシップの育成、平和構築、奉仕活動において協働しています。ワフラさんにとってこの経験は、「意義ある奉仕は、つながりを感じ、自らの価値を認められ、リーダーとして力を発揮できる人たちから始まる」という学びを、改めて確かなものにしました。

彼の物語は、なぜ青少年奉仕月間が重要なのかを私たちに思い起こさせてくれます。ローターアクトや、ロータリー青少年交換などの青少年プログラムを通じて、若者はリーダーシップを育み、グローバルな視野を広げ、奉仕を通じて自らがもたらし得るインパクトを実感していきます。

ロータリーの行動計画は、参加者の積極的な関わりをさらに高めることを求めています。その根底にあるのは、極めてシンプルな問いです。「どうすれば、ロータリーへの参加を、全ての人にとって意義深く、充実したものにするのか」。ローターアクトと青少年プログラムは、その問いに対する力強い答えを示しています。

クラブがローターアクターのメンターとなり、交換学生を受け入れ、青少年のリーダーシップ育成を支援することで、会員は自らの経験を、より個人的でやりがいのある形で分かち合うことができます。こうしたつながりは、会員一人一人の目的意識を深め、ロータリーファミリーの絆をより強固なものにします。

さらに、それはロータリーへの長期的な関わりへとつながる道筋を生み出します。毎年、何千人もの若者がロータ

リーのプログラムを修了し、その経験を生涯にわたって大切にします。そして多くの人々が、その後もロータリーと関わり続けたいと願っています。

元青少年交換学生で構成されるローテックス・インターナショナルのような団体は、プログラム修了者がメンター、リーダー、そして青少年プログラムの推進者として活動を続けることを支えています。ローテックス共同設立者のハンス・リーさんが最近の寄稿で述べているように、「青少年交換は帰国した時に終わるものではありません」

こうした若いリーダーをクラブや活動に迎え入れることで、世代を超えたロータリーの継続性は、より確かなものとなります。

青少年奉仕月間に当たり、全てのロータリークラブに、青少年プログラムを通じて新会員とベテラン会員双方の関わりをどのように深められるか、改めて考えていただきたいと思います。奉仕プロジェクトで協働し、計画や意思決定の場に若者の声を取り入れていきましょう。

ロータリーが世界に発信するメッセージは、「よいことのために手を取りあおう」です。青少年プログラムは、それがどのように実現されるのかを示しています。世代を超えた人々が集い、アイデアを分かち合い、肩を並べて奉仕することで、それは現実のものとなるのです。

若者への投資は、未来のリーダーを育てることにとどまりません。今この瞬間のロータリーを、より強く、より結び付きのあるものにしていくのです。

フランチェスコ・アレッツォ

2025-26年度 国際ロータリー (RI) 会長